



●開催テーマ

市民憲章・市民の日について

- 市民憲章に、どのような言葉・内容を盛り込みたいですか？
- 市民の日は、どのように過ごしたいですか？

開催日時： 令和2年10月3日（土）
15：00～16：30

会 場： 与野本町コミュニティセンター
第3・4集会室

参加者： 11名（傍聴者1名）

市出席者： 市長
都市戦略本部都市経営戦略部

事務局： 市長公室広聴課

●テーマの説明・意見交換のねらい

2021年は、さいたま市が誕生20周年を迎える大きな節目の年となります。タウンミーティングでは、皆様とこれまでの20年を振り返り、さいたま市の未来について考えながら、市が制定を目指している市民憲章・市民の日について御意見を伺いました。

さいたま市のこれまでの歩み

平成13年 (2001年)	さいたま市誕生	平成23年 (2011年)	誕生10周年、区の花を決定 「のびのびシティさいたま市」決定
平成14年 (2002年)	市の木、市の花、市の花木を制定 総合振興計画基本構想スタート	平成26年 (2014年)	総合振興計画後期基本計画スタート
平成15年 (2003年)	政令指定都市に移行 市の歌「希望(ゆめ)のまち」を発表	平成30年 (2018年)	人口130万人突破
平成17年 (2005年)	旧岩槻市と合併、10区の色を制定 平和都市宣言制定	令和3年 (2021年)	誕生20周年
平成20年 (2008年)	岩槻の人形、大宮の盆栽、浦和のうなぎを さいたま市伝統産業に		



●参加者からの御意見 これら以外にも多くの御意見をいただきました。

市民憲章に盛り込みたい言葉や内容など

- ・緑豊かな環境を備えた、誰にも優しく安全で安心して生活できるまち
- ・老いも若きも住みやすいまち
- ・子どもも理解や共感ができる文言でつくるとよい

市民の日の過ごし方

- ・おまつりを市内で一斉に開催し、市民が一緒に楽しく過ごせるとよい
- ・市民憲章について考える日とするとよい
- ・いろいろな方と交流ができる日であるとよい

●御参加いただき、ありがとうございました！



当日は、皆様から大変素晴らしい御意見や、聞いていて楽しくなるような御提案をたくさんいただきました。それぞれの歴史や特性、違いがあった4市が合併してさいたま市となりました。皆様と一緒に課題を解決しながら、このまちをつくってきました。それが20年続き、人間で言えば、成人を迎えることになります。

そして、この度、当日お寄せいただいた御意見などを基に、市民憲章案、市民の日条例案がまとまりました。市民憲章・市民の日を通して、皆様がさいたま市への愛着や誇りをより一層深めていただけるよう、今後もしっかり取り組んでいきたいと思っています。

令和3年3月 さいたま市長 清水 勇人